



筑波大学メールマガジン “ペデジャーなる” 2019年8月-夏号-

—OB・OG と学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

INDEX

1. 『冷たいカレーうどん！？』／越智小夏
—スパイスパワーで夏バテを解消しましょう！
2. 『ぷーっと幸せなパン屋さん』／山野実菜
—つくばにできた新しいパン屋さん
3. 『つくば市内でBBQ』／金久保響子
—筑波大学近くで夏を満喫できる場所をご紹介します
- 4 『夏の密かな立役者』／吉永真理
—筑波大学の室外機特集
5. 『21周年むかえるザ・スープ・ファクトリー』／森賀遼太
—開店当時から変わらないスープメニュー
6. 『どうなる？ つくば駅前の空洞化』／木村誠
—『クレオ』のいまとこれから

1 冷たいカレーうどん！？



だらだらと続いた梅雨が明け、青空がまぶしい季節になりました。

洗濯物が一瞬で乾くようになったのは嬉しいですが、じりじりと照り付ける暑さに食欲を奪われているのは筆者だけではないはず……。

そんな時に食べたくなるのが、「麺」ですよね。筆者はついついそうめんばかり食べてしまい、最近一週間の晩御飯を振り返っても、そうめん、うどん、そうめん、お茶漬け、うどん、そうめん、そうめん……。

読者の皆さんの中にも、この「無限そうめんループ」から抜け出したいと思っている方は多いのではないのでしょうか。

そんな方におすすめしたいのが、平砂宿舎近くにある「カレーうどん ZEYO.」の「冷やしカレーうどん」です！



「カレーうどん ZEYO.」といえば、学生時代に通われた方も多いのではないのでしょうか？ 10円で食べられるコロッケ丼や、チーズやちくわ天などの様々なトッピングが有名ですよ。そんな中でこの夏にお勧めしたいのが、この「冷やしカレーうどん」です！なんと、ダシもうどんも、食器までひんやりと冷たいんです。これなら、夏の暑さも一瞬で忘れてしまいそうです。

冷やしカレーうどんの一番の魅力は、なんといっても口に入れた瞬間に香る和風ダシです。そもそも ZEYO.のカレーうどんは、温かい普通のカレーうどんも鰹のダシが特徴的な

のですが、冷やしカレーうどんはその中でもダントツでダシが濃厚なんです。そのダシの風味と、カレーのスパイスが冷たい麺とよく絡み、気が付いたら夏バテなんて忘れてつるっと食べきってしまいます。

そして ZEYO.の特徴は、トッピングの種類が豊富なこと。ちくわ天やカニクリームコロッケなど揚げたて熱々の揚げ物と冷たいうどんを交互に食べれば、手が止まらなくなってしまいます。

ZEYO.の店長にお話を伺ったところ、開店当時にさまざまな種類のカレーうどんを考案したのですが、その中から今でも人気を誇っているのがこの冷やしカレーうどんだとか。

そんな美味しい冷やしカレーうどんを提供している ZEYO.ですが、最近会員証がリニューアルしました。3回以上来店した方から使える ZEYO.の会員証、新しくなってから、なんとコロッケ丼やソースカツ丼、ほうれん草などが学生サービスと同じ金額で食べられるようになったとのこと。コロッケ丼はなんと 10 円です！

まだまだ続く暑い夏、夏バテでふらふらになってしまう前に、カレーうどん ZEYO.の「冷やしカレーうどん」はいかがですか？

(人文・文化学群 比較文化学類4年 越智小夏)

🍩 2 ぷーっと幸せなパン屋さん



今年5月、つくば市さくらの森に新しいパン屋さんができました。その名も「ぷーぱん」。さとしさんとひろみさんという夫婦二人で営んでいるパン屋さんで、お店に行くときにこやかにお二人で接客してくださいませ。

何と言ってもこのお店の名前が気になりますよね。店名の由来を、お二人にお聞きしました。一つはパンが焼ける時にぷーっと膨らんでいく様子を表したもので、そしてもう一つはさとしさんが以前ぷー太郎と呼ばれていたなど、日常で「ぷー〇〇」という表現を使うことが多くあったことからという理由があるそうです。

お店の前やホームページ、袋にも使われている、右上のようになんとも愛らしいロゴは、実はよく見るとひらがなの「ぷ」の形をしているんです。デザイナーさんに作ってもらったものですが、お二人ともとても気に入られているようで、パンの焼き印やテープの他にエコバッグなども作ってしまったと笑顔でおっしゃっていました。



私も実際に何回か買い求めに行ったのですが、その中で食べたものをいくつかを紹介します。一つ目はカスタードコロネ。サクサクだけどモチモチの生地の中にカスタードクリームが入っている一品で甘さのバランスが絶妙によく、心満たされるお味でした。二つ目はガーリックトースト、これはぷーぱんファーム



で育てたニンニクを使っているらしく、香りも新鮮。これまで食べてきたガーリックトース

トとは一味違う味わいでした。三つ目は紫芋と黒豆のパン、程よくパン生地の美味しさを主張しつつ、うまく紫芋と黒豆がマッチしていて絶品でした。

お店の前に一つだけテーブルと椅子が置いてあり、そこで食べさせていただきましたが、お店の周りが見晴らしが良く、清々しい空気を感じながら美味しいパンをいただくことができました。

皆さんもぜひ「ぷーぱん」のパンを食べて、お腹も心も「ぷー」っと幸せになられてはいかがでしょうか。

ぷーぱんのホームページ→<https://pupan.jp>

(人文・文化学群 比較文化学類3年 山野実菜)

3 つくば市内でBBQ



梅雨もあけ、本格的な夏が始まる季節となってきました（7月下旬に執筆中）。読者の皆さまがこの記事をご覧になる頃も、まだ残暑の厳しい季節なのではないかと思います。個人的な話になりますが、私は寒さよりも暑さの方が苦手です。夏は1年の中で一番苦手な季節です。この時期にすでに溶けるほどの暑さなのに、より暑さが厳しくなる8月にはどうなってしまうのか……。そんな不安の中、クーラーをがんがんに効かせた研究室にこもる毎日です。

そんな苦手な夏ですが、夏のイベントには楽しみなものもあります。その中の1つがBBQ（バーベキュー）です！ 友達や家族とともにわいわいと食材を焼きながら、冷たいビールを飲む。そんな楽しいBBQのためなら暑さも我慢できると、毎年1回は必ず参加しています。開催する場所は、親戚たちが集まる祖母の家や旅行先のペンションなど様々ですが、今年は我らが筑波大学のすぐそばにあるBBQ会場を利用してきました。今回利用したのは「つくば市 豊里ゆかりの森」という施設です。今回の記事では、この豊里ゆかりの森を利用してよかったと思ったポイントを、3つにしばってご紹介しようと思います。

① なんとと言っても大学から近い！

1つ目のポイントは大学からの近さです。豊里ゆかりの森は、筑波大学を横切る平塚線を西に下り、しばらくして右に曲がったところにあります。車では10分ほど、自転車でも30分ほどで行くことができます。筑波大生は大学周辺の地域に住んでいることが多いと思います。そんな筑波大生の生活圏内でBBQができるということになります。筑波大で集合してから行こうだとか、いつものスーパーで買い出しをしてから行こうだとか、忘れ物したからとってくるだとかいうことができ、何かと便利です。さらには、BBQが終わったあとに家の近くの居酒屋で二次会をしよう、なんてこともしやすくなります。近いというのは便利ですね。

ただ、このおすすめポイントは筑波大周辺に住んでいる方向けのものになってしまいます……。最寄りのつくばエクスプレス研究学園駅からはバスで10分ほどで行けるようです。遠方からいらっしゃる方は、公共交通機関を利用したほうがいいかもしれません。

② 利用料が安い！

2つ目のポイントはBBQ場の利用料の安さです。利用料は、なんと1人210円！ 金欠になることが多い大学生にとっては嬉しい値段です。ちなみにこの料金は場所代のみなので、鉄板や網、調理道具や炭などを借りるためには追加料金が必要です。それでも鉄板と網のレンタル料が各々200円など、良心的な値段設定です。道具を持参さえすれば1人210円

4 夏の密かな立役者



梅雨も明けて暑い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。昨年の夏号では「夏感」を出そうと筑波大学構内の自動販売機について取り上げました。今回も「夏感」を求めて、夏の必需品である空調機にまつわる室外機について書こうと思います。

そもそも室外機とは、室内機とセットで働く空調機の一部です。室内から運ばれる暖かい空気を外に捨て、涼しい空気に変換して室内に送り返す役割を担い、空調機の要となっています。

では、なぜ今回わざわざ室外機を取り上げるのか。それは、日本の夏の一場面を切り取るのに室外機ほど趣のあるものはないと考えるからです。かき氷、花火、浴衣……夏の風物詩といえさまざまあり、どれも心躍るものに違いはありませんがどれも直喩的で、太宰治が天下茶屋から見た富士山を「あまりにおあつらひむき」と評価したのと同じ感覚に陥ります。対して室外機は、空調機の一部として確実に夏の生活を支えるにもかかわらず、外に取り残されてそれ自体が注目を集めることはまず無い、というところにしみじみとしてしまいます。

そんな訳で、今回は大学構内の室外機をカメラに収め、彼らの存在に目を向けてみようと思います。



(草の上に並ぶ室外機)



(建物の中腹にある室外機)



(各部屋に取り付けられた室外機)



(青空に映える屋上の室外機)



(業務用の大きな室外機)



(室内機へ続くパイプも重要)

写真は他にもありますが、この辺りでやめておきます。気付いたのは、壁面に取り付けられた室外機は少なく、一階か、若しくは屋上に集中して置かれている、ということです。一階の室外機から各階にパイプが伸びていることもあり、一つの室外機で複数の部屋を管理できることも分かりました。

この夏も空調機にお世話になることが多いと思うので、室外機にも思いを馳せて使用したいと思います。

(生命環境学群 生物学類4年 吉永真理)

5 21周年むかえる ザ・スープ・ファクトリー



今年の10月でスープ専門の喫茶店「ザ・スープ・ファクトリー（スーフアク）」は21年目を迎えます。ちょっと区切りが悪いのはご勘弁ください。昨年に記事を書けばよかったのですが……。

スーフアクは1999年の10月に第一エリア1A棟2階（元第一学群喫茶部分）にスープ専門店としてオープンしました。当時の筑波大学新聞によると、スープ専門店は日本では馴染みのないものでしたが、ニューヨークで流行していたそうです。そんなニューヨークスタイルのおしゃれな「食べるスープ」のお店としてスーフアクは現在も教職員や学生から愛されています。



（現在、1A棟の外側に置かれているスーフアクの看板。『ニューヨークスタイル』と大きく書かれています）

メニューは10種類のスープ（380～680円）を取りそろえています。サイドメニューではパン（60円）やライス（100円）、ナン（200円）などがあります。ほかにも、エスプ

レツソ (160 円) やイングリッシュティー (140 円) などの飲み物や、チョコブラウニー (220 円) やレモンケーキ (220 円) などのデザートも充実しています。飲み物とケーキのセット (300 円) を注文するとお得に軽食を楽しむこともできます。



(レジ前に置かれたメニュー表。店員さんによると、スープのメニューはオープン当時から変わっていないそうです。ドリンクのメニューには、最近流行しているタピオカドリンクも追加されました！)

店員の方によると、人気のメニューは、「ウェストコースト チキンボールチャウダー」(420 円) と「フレンチ ビーフスペシャル」(500 円) だそうです。チキンボールチャウダーはクリーミーでコクのあるチャウダースープに鶏肉のミートボールが入ったスープで、ミートボールのプリとした食感が大人気だそうです。ビーフスペシャルは牛肉と香味野菜をじっくり煮込んだスペシャルスープで、じっくりと脂抜きした牛肉とコラーゲンがたっぷり入っているそうです。

私はビーフスペシャルとライスを注文して実食してみました！！ スープの中には野菜と牛肉がたっぷり入っており、お肉がほろほろと口の中で溶けていくようで絶品でした。また、濃厚なスープとライスの相性も抜群で、ものの 10 分で食べ終わってしまいました。おいしかった……。



(実際に食べたビーフスペシャルとライスです。野菜とお肉がゴロゴロ入っており、大満足の一品でした！)

さて、ここまでスーファクの様子をお伝えしました。20年以上前から変わらないメニューがあったり、現在の流行も取り入れたり、筑波大のなかでおしゃれと名高いスーファクにぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

【VISIT】「ザ・スープ・ファクトリー」

営業時間：11時～18時（土・日は休み）※変更の可能性あり

場所：第一エリア 1A 棟 2階

電話番号：029-852-0908

(社会・国際学群 社会学類 3年 森賀遼太)

6 どうなる？ つくば駅前の空洞化



つくば駅前の「空洞化」が叫ばれています。つくば駅前の象徴である「CREO（クレオ）」は現在空きビル。建築家・磯崎新氏の設計で有名な「つくばセンタービル」（1983年開業）も1階の飲食店街は全て撤退。三井住友銀行つくば支店は隣駅・研究学園駅近くの大規模商業施設「イーアスつくば（イーアス）」に移転しました。今年6月にはつくば駅前に本社ビルを構えていた「ライトオン」が撤退、本社機能の一部は東京などに移し、店舗はイーアスへ移転させました。――いま、つくば駅前は深刻な空洞化に直面しています。今回は、クレオの現状を調べました。

1985年、つくば万博の年に開業したクレオには、百貨店の西武とスーパーのジャスコ（現・イオン）が入居。ですが、駅からのアクセスの悪さなどで客足が遠のき、2017年には西武、昨年にはイオンなどが撤退。クレオは空きビルとなりました。



（つくば駅前のクレオ。左が旧西武側の建物、右の低層の建物が旧イオン側の建物。）

空きビル状態を解消しようと、つくば市は昨年9月、市や民間企業などが出資する「まちづくり会社」を設立してクレオを購入する計画を発表。商業施設や図書館、企業オフィスなどが入居する複合施設への再生を目指しましたが、市議会からの反対を受け同10月に断念してしまいました。

今年3月、クレオに新しい動きがありました。不動産開発会社の日本エスコンがクレオを購入したのです。

日本エスコンの担当者にお話を聞きました。担当者によると、クレオの旧西武側の建物は低層階を専門店などが入居する商業施設に、高層階をオフィスとして再生させる予定だそうです。低層階には百貨店の入居も検討しているとのこと。設備改修などを経て、来年度中の開業を見込みます。また、旧イオン側の建物は解体し、2022年度までにITなどの先進技術を取り入れた高層マンションを跡地に建設する予定。すでに旧イオン側の建物は6月15日から解体作業が始まっています。部屋数や設備などは検討中で、今夏以降に公表するそう。

更に同社は、隣接する商業施設「Q't (キュート)」と「MOG (モグ)」も購入しており、同社担当者は「3施設全体で再開発を進めていく」と話していました。「クレオは開業以来つくばのシンボル。これまでのノウハウを生かし、市や筑波大などと連携しながら時代に合わせた形で再生させたい。日本エスコンの社運をかけた事業となる」と担当者は意気込んでいました。

クレオ、ひいてはつくば駅前の再生の鍵を握るともいえる日本エスコン。つくば駅前の空洞化に歯止めをかけることができるのか、今後も目が離せません。つくばにお越しの際は、ぜひつくば駅前に注目してみてくださいはいかがでしょうか。

(人文・文化学群 人文学類3年 木村誠)



『編集後記』

最後までお読みいただきありがとうございました！

つくば市には、駅前の姿など変わっていく面もある一方で、20年間同じメニューを提供し続けているスーパファクトリーなど、変わらない面も残っています。今回の記事を読んで、少しでも懐かしい気持ちになっていただければ幸いです。

これからも、筑波大学・つくば市をさまざまな角度からお伝えしていきますので、次号以降も楽しみにお待ちください！

(人文・文化学群 比較文化学類4年 越智小夏)



筑波大学のいろいろな取組みのご紹介

📍嘉納治五郎・金栗四三特別展



東京高等師範学校(現筑波大学)出身の、「日本マラソンの父」金栗四三の半生を描いた大河ドラマ「いだてん」が1月6日から放送になりました。ドラマには、金栗の才能を見出した「柔道の父」「教育の父」として知られる嘉納治五郎(東京高等師範学校校長)など、本学ゆかりの人物・時代背景などが登場します。

これを記念して、『嘉納治五郎・金栗四三 特別展』を会場を分けて同時開催しております。各会場では、金栗四三が練習用に履いていた足袋をはじめとする本学とオリンピック・パラリンピックのかわりなど多数を展示しています。

また、筑波大学サテライトオフィス及びつくば市交流サロン(BiVi つくば内)において、「いだてん～東京オリムピック噺(ばなし)～」の番組展を開催しております。「番組紹介パネル」「出演者等身大パネル」「衣装」や「小道具」を展示しています。併せてご覧ください。

主催：NHK サービスセンター

後援：NHK 水戸放送局

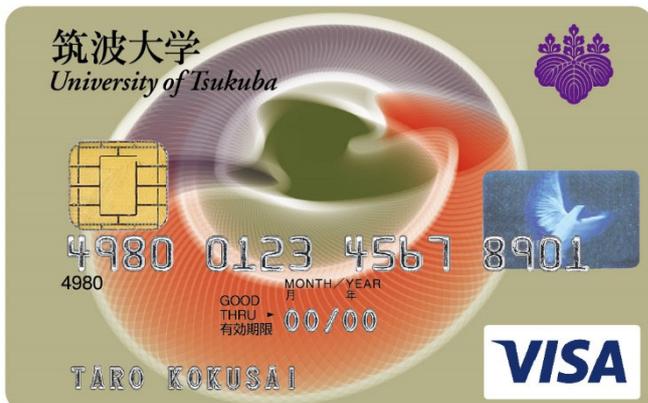


▽▼詳細はこちら▼▽

<http://www.tsukuba.ac.jp/event/e201901221125.html>

📍 筑波大学カード

筑波大学公式クレジットカード「筑波大学カード」新規入会者募集中です！



インターネットからもお申込みいただけますので卒業生の皆様もぜひご利用ください！

《筑波大学カードをご利用の場合》

- ・ 利用金額の一部が筑波大学基金へ寄附
- ・ サービス協力店舗での優待利用可能

詳しくは、<https://alumni.tsukuba.ac.jp/cashcard.html>

をご覧ください。

- 📍 筑波大学 公式ホームページ: <http://www.tsukuba.ac.jp/>
- 📍 筑波大学 facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>
- 📍 筑波大学 Futureship facebook: <https://www.facebook.com/univ.tsukuba.futureship>
- 📍 筑波大学交流広場「KUTTUK ba」: <https://alumni.tsukuba.ac.jp/>
(筑波大学交流広場／筑波大学生涯メールアドレス 利用登録募集中！)
- 📍 編集・発行: 「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ
- 📍 デザイン・配信作業: 国立大学法人筑波大学事業開発推進室
- 📍 ご意見・問い合わせ先: 国立大学法人筑波大学事業開発推進室
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1-1
TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

© 2019 University of Tsukuba.